



保育室便り 3月号



春を探しにお散歩に出かけた子ども達。足取りもしっかり、成長を感じながら、公園でも楽しく遊ぶことが出来ました。大好きなお堀では暖かい日に亀が顔を出し、「亀、亀がいるよ！」と春の変化に喜んでいました。保育室から舞鶴公園までの道には春の草花が植えられており、信号待ちの時に花の名前も覚えました。保育室では春にちなんだ絵本の中に草花が出てくると、笑顔で指差し、教えてくれています。お散歩中に保育士が「土筆がないねー」と探していると不思議そうな顔をしていた子ども達ですが、本物の土筆を見つけると一緒になって喜んでくれました。

三月は季節の変わり目で環境も変化し、衣服も厚手から、薄手の物、着る枚数も変わります。就学前の子ども達は自分で衣服の調節がまだできません。春になったことを意識付けることで季節感、時間の流れを知ることができ、衣服への意識も生まれます。子どもたちと衣替えを楽しんでみるのも成長を感じられる良い機会かも知れませんね。



三月の月の絵本

「つくし」 「ざっそう」

甲斐信江

かかくの友権音館

とても身近な草花の話です。色彩も暖かく春を感じる理科の入口、科学絵本です。

「はるかぜ とぶう」

小野かおる

権音館書店

春風の子どもトプーの冒険。春風の訪れになぞらえた話です。

春風親子の掛け合いにも温かさを感じます。

4月の遊び

室内では・・・絵本の読み合わせ、「体ほぐし遊び」などを楽しみます。

土を耕す経験を、子どもたちと楽しみたいと思います。

種をまくことで根が伸びる、芽が出る楽しさも体験します。

お散歩では・・・桜や草花を意識してお散歩、メダカやカエルなどの観察。

公園の遊具で足腰を使う遊びを楽しみます。坂道や、階段登りに挑戦します。

製作では・・・お絵かきや手形を使った製作、大きなお友達は折紙でこいのぼりを作ります。

意識したい行事 「お花見」

満開の桜の下、おいしいごちそうを広げ、飲んだり食べたり、みんなで桜の美しさを楽しみます。

昔、桜は「稲の神様がやどる木」と言われ、花がさくと、山から神様が降りてきて、人々と一緒に

ごちそうを食べ、豊作を願いました。昔話に多く桜が登場するのも桜が愛されているからなのでしょうね。

今では、ご家族、友人との楽しい春の行事のひとつです。